

約1カ月にわたり、町田市内の100店舗で キャンペーンを展開参加店舗より

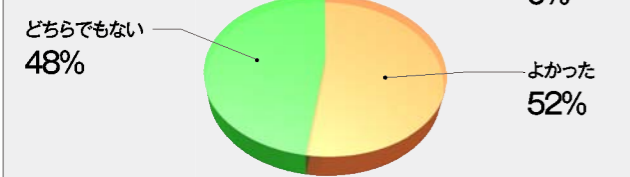
「やってよかった!」「今後も続けたい!」などの声をいただきました。

今回のキャンペーン参加店舗は、町田市内の中央、成瀬・金森、木曽、鶴川、玉川学園のエリアで営業している「すき・まち」加盟店と協力店、合わせて100店舗。鶴川団地センター名店街では全ての店舗が参加して、「エコ通り商店街」となりました。玉川学園では商店会全体で工夫を凝らし、「マイバッグ」持参のお客さまにスタンプラリーで満足感を提供するなど、様々な催し物を同時に展開しました。参加店舗からは、「やってよかった」「今後も続けたい」などの声をいただきました。

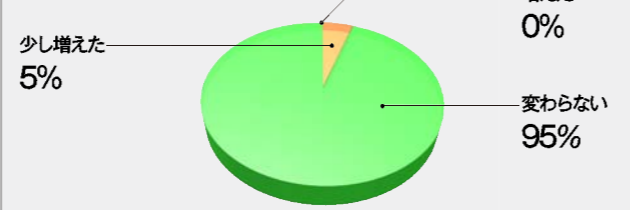
「すきだ・まちだ・リユースだ」キャンペーン アンケート結果

	アンケート送付数	回答数	回答率
「すき・まちポイント」加盟店	59店舗	33	55.9%
協力店	40店舗	15	37.5%
その他(弁当屋・酒販店)	17店舗	12	70.6%
総数	116店舗	60	51.7%

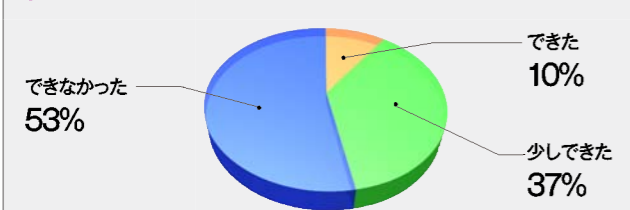
①キャンペーンに参加してよかったですか?



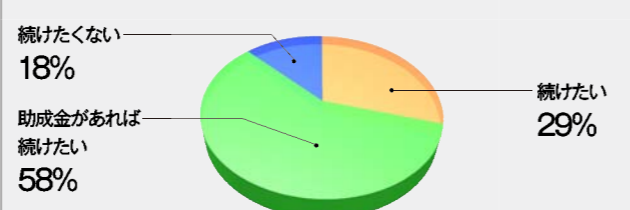
②来客数は?



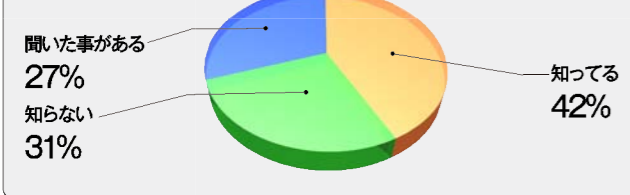
③チラシのサービスはスムーズにできましたか?



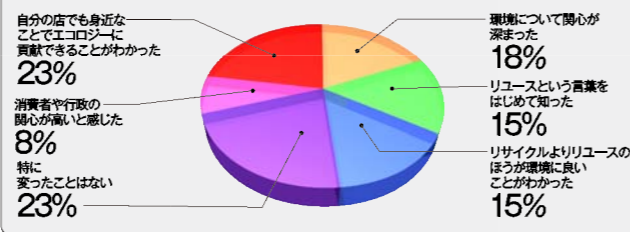
④今後もサービスを続けたいですか?



⑤町田商連が60周年を記念して「エコ宣言」をしたのをご存知ですか?



⑥キャンペーンに参加して変わったことはありますか?



「エコ」を考える町田で「すき・まちポイント」の利便性を広めていきたい!

町田市商店会連合会では、以前から「ごみの減量」に取り組んできましたが、今回のキャンペーンは大変ありがたいお話でした。私どもが発行している「すき・まちポイントカード」ならびにバスモやスイカに、エコによるポイントを提供するというのは、まさに理想の試みだと思えました。エコロジーについて、わかっているもなかなか実行できない状況がありましたが、このキャンペーンにより、事業者と市民と行政が一緒になって環境問題に取り組むためのきっかけにもなりました。リサイクルがいいことだと思えていましたが、それよりもリユースがもっとも環境に優しいことだと、今回参加してみて、実感することができました。今回参加した協力店とは今後も手をつなぎ合い、行政のお力添えをいただきながら、ますます「エコ」を考える町田で「すき・まちポイント」の利便性を広めていきたいと思っています。



町田市商店会連合会 ▲キャンペーンの結果を報告する柳澤会長



⑦キャンペーンに参加してどんな感想をもたれましたか?

「すき・まちポイント」加盟店の回答

【キャンペーンの目的に対するお店の感想・評価】

- 身近なところから環境に貢献できる機会をいただけたことに、感謝します。スタッフの意識の向上につながりました
- スタッフの意識の向上につながりました
- リサイクルよりリユースが大事だと思った
- 身近なところでリユースができることが、とてもよくわかった
- 環境問題意識は開店当時からあり、チラシなどで伝えてきたが、やっと今なのかと思う
- このキャンペーンは、お店よりむしろ自治会などを通して、一般市民に意識を持たせたほうが効果的だと思った。ただお店も意識を持つことは大切だと思う
- 大々的に行われたキャンペーンでしたが、個店レベルですでに(マイバッグ持参)はやっているので変わった感じはしなかった
- リユースにまだまだ関心がないように思う
- 短い期間でしたので特にありません

【消費者・来店者について】

- お客様の来店がなく、キャンペーンに参加はしたもののリユースに貢献した印象がなかったのが残念でした。次回に期待しています
- もう少したくさんのお客様があればよかった
- 一般の方がこのキャンペーンをやっていることを、ほとんど知らないようだった
- もっと周知、啓蒙するべきと思う
- すき・まち会員でない人は関心が薄い
- チラシ・広告を見た会員さんは来店したが、会員でない人は来店していない
- メルマガに登録していない人はキャンペーンを知らない

【チラシについて】

- スタンプラリーが目立たなかった、わかりにくい
- 用紙が大きすぎたような気がする
- 折りたたんであるので、いちいち広げて説明しきれない
- スタンプラリーの用紙を早くほしかった。

【今後への期待】

- もっともっと広がってほしい
- 助成金関係なしに継続すべきと思う
- 次回につなげてほしい、参加店を増やしてほしい
- 地元の商店街でもペットボトル、アルミ缶、キャップなどをリサイクルしてサービス券を発行していますが、これからもこのような試みが多くなることを期待しています

【その他】

- のぼりが可愛かったが、これで終わってしまうのがもったいないと思った
- 期間が短かった
- 買い物袋を持参しても、すき・まちポイントカードを持っていないため、ポイントの付与ができなかった
- 玉川学園商店会では、会員店にお知らせし参加店を募集したが、すき・まちポイント加盟店のみとなった。銀行・郵便局・各団体に事前チラシを配ったが、初めての試みのせいか盛り上がり欠けた

協力店の回答

【キャンペーンの目的に対するお店の感想・評価】

- 今、リユースをやっても関心はもたれない
- 会社としての経営理念である「環境に優しい」をもっと積極的に取り組みたい
- 今まで孤独にエコをやってきたという感じていたが、仲間が増えて頼もしく感じるようになった
- 一般の方がどの程度の関心なのか不明
- お店としてはあまり力になれなかったが、個人的にはエコについて関心をもつことができた
- 使い捨てが便利なこの時代に、重くて、割高のびん入り商品を買う人は少ない。買う人はあまり増えないと思う。酒販組合で数年前に行ったが効果なし
- すでに開店から22年間、買い物袋有料化(リユース)、牛乳パックの回収とそのパックによるトイレトペーパーの企画に参加しています
- お客様の大半は買い物袋持参です
- リユースは物によってはコストとエネルギーがかかる場合もある
- 無駄な消費を減らし、買い物袋は分解し、環境に負荷のかからない物を共同で取り組むといった、踏み込んだ企画があるとアクションしやすい
- エコについて、何でも使い捨てはよくないと感じました
- 環境問題は大切で必要なことだから、地道に続けることが大切だと思う

【消費者・来店者について】

- 旗を立ててパンフレットを置いていただけではお客さんは関心を持ってくれない。一人一人に話が出来ればいいが、忙しく余裕がなかった
- 一人一人に話が出来ればいいが、忙しく余裕がなかった
- 認知度が足りない
- いまひとつ、全体にキャンペーンが浸透していないと思った

【チラシについて】

- 多くのチラシが残って資源ごみになってしまった
- チラシが「大きすぎる」「かさばる」と受け取り拒否もあった
- チラシ(パンフレット)をたくさん送ってもらったが、店頭のお客様が少なく残ってしまった。高価なチラシがもったいない
- チラシが足りないお店はあったので、次回やるときは要望を聞いてからでもいいのではないかと

【今後への期待】

- エコ意識が広まっているので今後も協力できることがあれば参加したい

【その他】

- ビンの規格の統一が大事自販機の清涼飲料水のビンはキャッシュバックするので、ビンの戻る割合90%。首飾りは付けたが、あまり効果がなかった
- ビン物をバラ売りすると戻ってこない、飲食店のビンは戻ってくる